

会議結果のお知らせ

附属機関等の名称	栃木県農政審議会	
会議の公開について	公開	
令和8（2026）年2月20日		
<p>（概要）</p> <p>1 日時 令和8（2026）年1月21日（水） 13時30分～15時00分</p> <p>2 場所 栃木県公館大会議室</p> <p>3 出席者 委員20名</p> <p>4 議題及び議事</p> <p>（1）諮問事項</p> <p>○次期農業振興計画の策定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次期農業振興計画（案）について、事務局から説明を行った。 <p>○委員からの主な発言内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最大の課題は、担い手の減少への対応であり、雇用就農を含めた対策をしっかりと盛り込んだことは評価できる。 ・「農業やるなら栃木県」というキャッチフレーズはわかりやすく、県民にとっても誇りを持って発信できる計画となっている。 ・非常に高い目標設定がされており、大変意欲的な計画である。また、施策展開のイメージ図や指標の整理、コラムの掲載などにより、わかりやすい構成となっている。 ・担い手、生産、農村・消費の3つの戦略がバランス良く整理されており、実現後の明るい未来が想像できる計画となっている。 <p>（2）答申</p> <p>次期農業振興計画について、案のとおり定めることが適当である旨、知事に答申された。</p> <p>（3）意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の農業に対する期待や各所属団体等の取組等について、意見交換を実施した。 <p>【委員からの意見内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画は良いものができたと思うが、重要なのは「情報発信」と「実行」であり、計画の内容を各団体や農業者に向けてしっかりと発信し、オール栃木で取組を推進してほしい。 ・計画の実現に向けては、稼げる農業の実現が不可欠であり、生産性、収益性、持続性を重視しながら、魅力ある栃木県農業を一丸となって築いていきたい。 ・多様な人材の参入に向けて、働きやすい環境づくりを着実に進めるとともに、「農業やるなら栃木県」を全国に発信していくことが重要である。 ・成功事例を通して、若い世代に農業を職業の選択肢にしてもらうことが重要である。 ・農業は、生きるために不可欠な産業であるとの十分な理解がされていないと感じており、子ども達への食育活動等、農業や食の大切さを伝える取組を推進していきたい。 ・生産性の向上に向けて、スマート農業の普及や基盤整備、担い手と農地のマッチングを着実に進めていくことが重要である。 ・「とちぎグリーン農業」が計画に盛り込まれたことを心強く感じており、環境への配慮の視点から本県農業を一緒に盛り上げていきたい。 ・中山間地域は、平地と比べて不利な面があるため、有機農業などの付加価値を高める取組が不可欠であり、他県の先行事例なども参考にしながら取組を進める必要がある。 		
問い合わせ先	栃木県農政部農政課農政戦略推進室 （栃木県農政審議会事務局）	電話 028-623-2284 FAX 028-623-2340